

いわき 農林水産 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

令和6年10月号

vol.236

発行日

2024/10/31

写真について
詳しくは
p.11を
チェック!

- 01 フレッシュ農業講座を実施しました!
- 02 各種取組の実績(9~10月分)
- 06 高校生発!Iwakiならではのグルメをつくろう優秀レシピ紹介
- 07 お知らせ
- 07 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果
- 07 いわき地方の出荷制限等品目
- 07 野生きのご等の出荷・摂取制限について
- 08 いわき地域産業6次化ネットワークの参加者募集
- 08 いわきワイナリー収穫感謝祭開催!
- 09 食品表示法あれこれ
- 10 6次化商品紹介

特集

フレッシュ農業講座を実施しました!

9月18日(水)、県立磐城農業高等学校の1年生を対象に、JA福島さくらいわき梨共同選果場において、職業として農業への理解と関心を深めてもらい、いわき地域の将来を担う新規就農者を確保することを目的として、フレッシュ農業講座を実施しました。

はじめに、日本なし農家で青年農業士に認定されている根本大我さんから、就農を考えたきっかけや就農してから大変だったこと、農業の魅力や今後の目標について話がありました。次に、JA福島さくらの園部営農指導員から、管内の日本なしの出荷・販売体制や、ベトナム・ロンドンへの輸出、新規就農者のための研修生受入など、JA福島さくらいわき梨部会の取組について説明がありました。



▲ 根本大我さんの講話

その後、選果場内で、選果から梱包までの流れに関する説明を聞き、実際になしの選果も体験しました。生徒の皆さんは、熱心にメモを取るなど、積極的に新しい知識を吸収していました。

講座後のアンケートでは、農業に対するイメージが「もうかる」「魅力がある」と回答した生徒が7割を超えるなど、職業としての農業に魅力を感じてもらうことができました。

当所では、今後も教育機関と連携し、農業に触れる機会を増やし、就農へのきっかけづくりを行ってまいります。

(農業振興普及部)



▲ 選果を体験する生徒たち

第2回先山ゼロ災推進安全巡回指導

9月27日(金)

今年度2回目の先山ゼロ災推進安全巡回指導が実施されました。これは、林業・木材製造業労働災害防止協会（林災防）から委嘱された安全衛生指導員と農林事務所職員等が林業の作業現場を巡回し、労働災害防止に関する指導を行うものです。

この日は田人町と小川町の間伐の現場で作業状況を確認し、チェーンソーの扱い方や保護具の正しい使い方等、伐採時に注意すべきポイントについて指導しました。作業員は、問いかけに対して防護具の使い勝手等を説明しながら、安全衛生指導員の指導を熱心に聞いていました。

林業の現場は他産業に比べて労働災害が多い傾向があります。厚生労働省が策定した第14次労働災害防止計画に基づき、今後も巡回等により安全衛生に関する指導を行い、労働災害がなくなるよう努めてまいります。
(森林林業部)



▲ 指導の状況

ドローンを活用した鳥獣の生態調査を実施

10月1日(火)、4日(金)

三和町永井地区では、今年度より鳥獣被害対策のモデル地区として取組を進めています。その一環として、NPO法人MOCCSに依頼し、ドローンに搭載したサーマルカメラによる鳥獣の生態調査を実施しました。

サーマルカメラは、鳥獣の体温と周囲の環境の温度差を利用することで鳥獣の分布を判別することに活用できます。今回の調査では、永井地区で問題となっているイノシシを発見することはできませんでしたが、鳥獣対策にドローンを活用することで、地区内における獣害の危険性の把握とそれに応じた対策の優先順位づけができるほか、ドローンから獣が嫌がる音を出すことで追い払いなどに活用することが期待できます。

今後は、地区での検討会を通じて結果の報告や活用を検討してまいります。

(農業振興普及部)



▲ ドローンによる調査の様子



好間第一小学校でフラワーアレンジメント体験を実施

10月4日(金)

第3回いわき地方フラワーネットワークの花育活動として、いわき市立好間第一小学校の6年生52名を対象に、福島県の花き生産状況の紹介と、市内産花き等を用いたフラワーアレンジメント体験教室を行いました。

本事業は、花が身近なところで生産されていることを知っていただき、花に親しみをもって生活の一部に取り入れてもらうことを目的に、令和5年度から実施しています。

児童は、市内生花店の講師からアドバイスをもらいながら、それぞれが自由で大胆に、個性豊かなアレンジメントを作り上げました。

開催後のアンケートでは、「アレンジメントは初めてやった、またやってみたい」「個性を出せて楽しかった」等の感想をいただきました。当所では、引き続き花きの消費拡大に向け支援してまいります。

(農業振興普及部)



▲ 花育活動の様子



▲ 綺麗にできたかな？

特定家畜伝染病対策いわき地方埋却演習を実施

10月7日(月)

いわき市内の養鶏農場において、特定家畜伝染病対策いわき地方埋却演習を実施しました。本演習は、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の発生に備え、家畜・家きんの処分後に行う埋却作業を想定して、実際に重機を使用して埋却溝の掘削を行うとともに、埋却作業の手順を確認するものです。

演習では、防疫体制埋却班ならびに建設業協会関係者等約20名が出席し、当所農業振興普及部からの現場における作業手順や埋却作業の主要工程等についての説明を通じて、情報を共有し、それぞれの役割等について確認しました。

今後は、関係者間の連携を強化するとともに、演習により得られた結果を防疫計画に反映させ、万全な体制整備に努めてまいります。

(農業振興普及部)



▲ 演習の様子



▲ 深さ4mの埋却溝

第27回福島県森林組合連合会良質材展示会

10月17日(木)

原木市場のいわき木材流通センター(遠野町)において、第27回福島県森林組合連合会良質材展示会が開催されました。

この展示会は、生産技術の向上改善により木材の商品価値を高め、木材需給の安定に寄与することを目的に開催されており、品質の高い木材を生産した素材生産者に賞が授与されます。育林技術や材質の良否はもちろん、造材技術や市場での商品価値などが評価され、1次審査を経て選び出された18点の出品物の中から7点に対し賞が授与されました。均一な年輪と美しい材色のスギ4m材を出品したいわき市の蛭田勝夫さんが最優秀の林野庁長官賞を受賞しました。

展示会当日は、素材生産業者や木材の買い手が集まり、市場には、受賞した出品物をはじめ県内で生産された良質な木材が展示されました。

10月26日(土)に郡山市の林業研究センターで開催された林業祭のなかで表彰式が行われました。

(森林林業部)



▲ 林野庁長官賞受賞の木材



▲ 展示会式典の様子

Topic

いわき市漁協朝市 in 小浜開催

10月5日(土)に、いわき市漁業協同組合が小浜漁港で朝市を開催しました。このイベントの目玉は、なんと「イセエビ釣り」。同組合小浜支所の刺網漁船が漁獲したイセエビを生け簀から釣り上げ、しかも1人1尾は持ち帰ることができるという催しです。小学生以下限定での開催でしたが、開始時間の2時間前から並ぶ方もおられ、ご家族全員で楽しむ姿がみられました。

イセエビ釣りの他には、「しらす干しのすくいとり」(専用容器への詰め放題)、「同支所女性部による魚料理のふるまい・販売」(ふるまい:カナガシラのつみれ汁、販売:メヒカリ、アカエイの唐揚げ)、「鮮魚・水産加工品の販売」(加工品:メヒカリやヤナギムシガレイの干物等)が行われました。来場者は500人を超え、どの企画も大盛況でした。

(水産事務所)



▲ イセエビ釣りの様子



▲ カナガシラのつみれ汁ふるまいで賑わう会場



Topic

いわきならではの家づくりを応援します！

皆さんは「地域材」という言葉をご存知ですか？地元の森林から伐採された木材のことで、現在、この「地域材」の利用が、地域林業の活性化やSDGs推進に繋がると期待されています。今回は、地域材の利用促進に取り組む(株)正木屋材木店(常磐下船尾町)をご紹介します。

大正4年創業の正木屋材木店は「いわきの人が、いわきの木を使い、いわきで暮らす人のためにつくる、『全方位よし。』の家づくり」を目指し、情報発信サイト「いわき家ナビ」を立ち上げました。長い歴史の中で築いたネットワークを生かし、いわき市およびその近郊の工務店の建築実例を200件以上掲載するなど、地域の家づくり情報が盛りだくさん！いわきや福島県産の木材を積極的に使用したプロの家づくりをぜひご覧ください。

実際にいわきの木材に触れたり体験したい方には、2階建てショールーム「MUKUROOM」がおすすめです。いわき産の杉材を使用した階段やフローリングを歩いて、歩行感や肌触りを体験できます。自社ブランドの木製品の展示や工務店の情報コーナーのほか、個別の住宅相談(要予約)も行っています。いわきでの家づくりを検討している方は、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。(企画部)



▲ アットホームな「MUKUROOM」
週末にはイベントが開催されることも



▲ 2階にある「フローリングファーム」
70種類以上のフローリングを展示

いわき家ナビは
こちらから



Topic

ふくしま復興「楢葉町×マルトさつまいもプロジェクト」収穫会

楢葉町のさつまいもを日本一に！との想いで、株式会社マルトが苗植えから商品化まで手がける「楢葉町×マルトさつまいもプロジェクト」。5月の苗植えから約4ヶ月が経過し、9月24日に無事収穫を迎えました。

当日は、商品開発を行う磐城桜が丘高校・平商業高校・小名浜海星高校・ふたば未来学園高校の生徒や、楢葉町、関係企業等から約120名が参加し、さつまいも「ふくしまゴールド」の収穫を行いました。生徒たちはさつまいもが折れないよう、慎重に掘り起こしていました。

今後、収穫したさつまいもを使用して各校で商品開発を進めます。3年目となる今年はどんな商品が出来上がるのか、今から楽しみです！



▲ さつまいもを収穫する生徒ら

(企画部)

高校生発!

Iwakiならではのグルメをつくろう

7

優秀レシピ紹介 vol.

昨年度、地元農産物の魅力を発信するため、市内の高校生と飲食店等が共同でいわきならではのグルメを開発した「高校生発! Iwaki ならではのグルメをつくろう」。

今回は応募のあったレシピの中から、ビストロあん庵のおすすめレシピをご紹介します!

当所ホームページにてレシピ公開中 ⇒⇒⇒



ネギ部門
おすすめ
レシピ
ビストロ
あん庵

ネギ肉味噌キムチーズバーガー

鈴木 娃花さん
福島県いわき光洋高等学校 1年
(応募時)
調理時間: 15分
食材費(2人分相当): 300円

材料

長ネギ 1本
 サラダ油 適量
 ひき肉 200g
 (A) みそ 大さじ2
 砂糖 大さじ1
 みりん 小さじ1
 キムチ 適量
 とろけるチーズ 1枚
 パンズ 2人分
 キャベツの千切り 適量

作り方

- ① 長ネギはみじん切りにする。
- ② 熱したフライパンにサラダ油をひいて①を炒める。
- ③ 長ネギの香りが出たらひき肉を加えて、色が変わるまで炒める。
- ④ ③に(A)とキムチを加えてさらに炒める。
- ⑤ ④にとろけるチーズをちぎって加える。
- ⑥ パンズにキャベツをのせ、⑤を挟んだら完成。

作品のPRポイント

祖父が作った長ねぎを、老若男女が食べやすいバーガーにしました。

【レシピを参考に作ってみたい!】

キャベツの代わりに白髪ネギ&揚げ白髪ネギを挟んでネギ増量!ネギ肉味噌キムチーズだけで美味しさの塊みたいなものですが、追加したネギの食感と香ばしさもかなり相性がよかったです。

(Y・W)

- 6 -

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和6年9月分)

農林畜産物の検査結果

令和6年9月の農林畜産物モニタリングでは、6品目12検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。内訳は(表1)のとおりです。(企画部)

(表1) 品目と検体数

ネギ1、日本ナシ1、イチジク1、玄米2、牛肉6、原乳1

海産魚介類の検査結果

令和6年9月の水産物モニタリングでは、114検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。(水産事務所)

いわき地方の出荷制限等品目

令和6年10月末現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は(表2)のとおりです。出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。(企画部)

(表2) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和6年10月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る) ^{※1} 、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ ^{※2}
出荷自粛	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

※1 わらび(栽培)で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限ります。(市内該当生産者20名のみ)

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

注意!

野生きのこ等の出荷・摂取制限について

野生きのこが多く発生する時期を迎えましたが、いわき市においては、「野生きのこ」の全種と「原木なめこ(露地)」が出荷制限等の対象となっています。採取者や直売所担当者の皆さまは、次の点にご留意願います。

1 出荷制限について

現在、いわき市産のきのこについての制限は上記(表2)のとおりです。特に野生きのこは地域全体としての安全性が確認されていないことから、出荷制限等は今シーズンも継続しています。そのため、

- 団体や個人においての自主検査により「基準値(100Bq/kg)以下」であっても出荷や販売等はできません。
- 無償の譲渡や、インターネット(フリマアプリ等)による個人売買も出荷に該当するため、できません。
- 出荷・販売だけでなく、飲食店や宿泊施設等での提供や加工用原材料としても使用できません。

なお、出荷制限等品目は市町村ごとに定められています。詳細は、県HP「きのこ、山菜類のモニタリングと出荷制限品目・市町村について」で確認してください。

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>)

2 摂取制限について

自家用の食材とすることも控えてくださるようお願いいたします。

3 栽培きのこについて

「原木なめこ(露地)」以外の栽培きのこは、栽培前に生産資材(きのこ原木、ほだ木、菌床等)の安全性の確認を県の検査機関において実施します。国が定める当面の指標値(きのこ原木・ほだ木 50Bq/kg、菌床 200Bq/kg)以下で安全性が確認できた生産資材のみ、販売目的のきのこ栽培に使用することができます。

また、発生したきのこは、出荷・販売前に県によるモニタリング検査を受ける必要がありますので、きのこ栽培の開始・再開を検討されている場合は、森林林業部(TEL0246-24-6193)までお問い合わせください。

(森林林業部)

いわき地域産業6次化ネットワーク交流会の参加者募集

令和6年度いわき地域産業6次化ネットワーク交流会を開催します。今回は福島県観光物産館の館長、櫻田武氏に講演いただくほか、市内の6次化商品販売店との交流会を行います。

参加希望の方は下記ホームページから参加申込書をダウンロードし、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。(企画部)

日時：令和6年11月13日(水) 13:30～15:20
 会場：県いわき合同庁舎 4階大会議室
 (いわき市平字梅本15番地)
 申込期限：11月6日(水)



※詳細は[いわき農林事務所HP](#)

令和6年度
いわき地域産業6次化ネットワーク交流会

第1部 講演
福島県
観光物産館 館長が語る！
売れる商品・求める商品
「福島の特産品」が売れる商品も探します！ 福島県観光物産館 館長

第2部 交流会
6次化商品販売店や
他の6次化事業者さんと
試食しながら交流しましょう！
試食持ち込み大募集！

令和6年
11月13日(水)
13:30～15:20
参加無料

会場 福島県いわき合同庁舎
4階大会議室(いわき市平字梅本15)
13:30～14:25 第1部 講演
14:40～15:20 第2部 交流会

時間 13:30～15:20

定員 35名(定員超過、要予約申込)

申込先 農産物の産地等には必ず事前連絡をください。11月6日(水)までにお申し込みください。

主催 福島県いわき農林事務所

いわきワイナリー収穫感謝祭開催！

恒例となっているいわきワイナリーの収穫感謝祭が今年も開催されます。多種多様なワインやグルメを楽しめるほか、ソムリエによるワイン教室、ジャズオーケストラのライブなどイベントも盛りだくさんです。ワイン好きなら行くしかない！(企画部)

日時：令和6年11月10日(日) 10:00～16:00
 会場：いわきワイナリーガーデンテラス&ショップ
 (いわき市好間町中好間字半貫沢34-72)
 入場料：前売り3,500円 当日4,000円

いわき農林事務所はいわきワイナリー収穫感謝祭を後援しています。

いわきワイナリー
収穫感謝祭

2024
11.10: 10:00-16:00
10:00-16:00 開催期間
10:00-16:00 開催期間

前売り 3,500円 当日 4,000円

TEL: 0249-26-0008

Topic

県立磐城農業高等学校の生徒が「福、笑い」販売実習

磐城農業高等学校が栽培した「福、笑い」の販売実習が、10月16日(水)にマルトSC中岡店で行われました。販売されたのは「福、笑い」の精白米のほか、「福、笑い」を使用したおにぎりやお弁当。売り子となった園芸科作物専攻の生徒らは、積極的に声を出しながら接客をしていました。

今年は昨年よりも収穫量が多く、美味しくできたとのこと。ぜひ皆さんもご賞味ください。(企画部)



▲ 販売実習を行った生徒ら



▲ 「福、笑い」の精白米



食品表示法あれこれ ⑥「無農薬」などの表示をしていいの？

農産物に「無農薬」「減農薬」「無化学肥料」「減化学肥料」などと表示して不特定多数の消費者に販売することは、実際の農産物の栽培状況にかかわらず、認められません。

●理由

・「無〇〇」について

その農産物の生産過程で農薬を使用していないとしても、近隣のほ場で使用される農薬や水路等から流入する農薬等を一切排除するのは困難であるためです。

・「減〇〇」について

削減の比較対象となる基準や削減割合、何が削減されたのか（使用回数？残留量？）が不明確で、消費者にとってわかりづらい表示であるためです。

これらの表示は、特別栽培農産物に係る表示ガイドライン（農林水産省）において消費者の優良誤認を招くものとして具体的に禁止されているほか、食品表示基準においても**表示禁止事項**に該当するおそれがあるので、注意してください。

（特別栽培農産物に係る表示ガイドラインQ&A Q6～8、51）

（食品表示基準第23条第1項第1号 表示禁止事項：実際のものより著しく優良又は有利であると誤認させる用語）



●栽培方法を消費者へアピールするには？

①有機JASの認証

県による認証を経て、有機JASマークを表示した有機食品だけが、「有機」「オーガニック」といった用語を使用して販売をすることができます。

なお、有機JASは無農薬栽培の規格ではないので、この場合も「無農薬」等の用語は使用できません。



[県の有機JAS認証についてはこちら](#)

②特別栽培農産物の表示

認証機関による認証を経て「農林水産省新ガイドラインによる表示」を行い、「特別栽培〇〇」「農薬未使用」「農薬無散布」等の表示をして販売することができます。

農林水産省新ガイドラインによる表示
特別栽培農産米

農薬：栽培期間中不使用
化学肥料（窒素成分）：当地比5割減
栽培責任者 農業法人〇〇
住所 福島県～
連絡先 Tel.0246～
確認責任者 〇〇 □□
住所 福島県～
連絡先 Tel.0246～



[福島県特別栽培農産物認証制度についてはこちら](#)

●加工食品に「無農薬」等の表示はできる？

農薬や化学肥料等を使用せずに生産した農産物を原材料にした加工食品への「無農薬」等の表示は、前述の趣旨を踏まえれば、適当ではありません。加工食品についても、「無〇〇」や「減〇〇」の用語は使用しないようにしましょう（特別栽培農産物に係る表示ガイドラインQ&A Q50）。

なお、有機JAS認証を受けた有機食品や特別栽培農産物を原材料に使用する場合は、食品表示基準第7条（特色ある原材料の表示）に基づいて、その旨を表示することができます。本誌7月号に掲載しましたので、そちらもご覧ください。

（企画部）

Topic

「福がーる」が田人町を訪れました

清泉女子大学の授業外の活動団体「福がーる」は、2013年から田人町の地域住民と連携し、学生主体で地域おこし活動を行っています。現在は8名で活動中で、6月には、田人産のいちごを使用したスイーツを学内のカフェで販売するなど、地域の魅力発信に取り組んでいます。

今回の訪問は、感染症の収束に伴い5年ぶりに1泊2日(10月12日～13日)の日程で実施され、当所は13日に行われた(株)磐城高箸の見学に同行しました。学生たちは、高橋代表に施設を案内していただきながら、田人町との関わりのきっかけや地域材を活用した商品開発の取組について積極的に質問していました。

今後は、11月2～3日に開催される学園祭に向けて、学生ひとりひとりが田人町の魅力を発信するポスターを制作すること。田人町の観光いちご園のいちごを使ったデザートや、一心堂菓子店の田人まんじゅうを販売する予定だそうです。気になる方はぜひ足を運んでみてください。(企画部)



▲ 鉛筆の製造工程を学ぶ学生たち

こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します

フェイジョアという果物をご存知でしょうか。南米が原産の国内では珍しい果物で、独特の甘い香りとまろやかな風味が特徴です。小川町にある「合同会社ゆうゆうファーム」ではこのフェイジョアを栽培しており、フェイジョアを使ったスイーツも販売しています。

今回ご紹介する商品は「ふえいじょあ羊羹」。フェイジョアのさっぱりとした酸味と白あんの良い甘さが相性ばっちりです。また、果肉(種)のつぶつぶとした食感も楽しく、鼻に抜ける華やかな香りは、どこか南国らしさを感じさせます。フェイジョアには抗菌・抗酸化作用があるため、健康に気を遣う方にもオススメとのこと。

都心を離れ、フェイジョア栽培のために小川町へ移住した丸山さん夫妻。フェイジョアの虜になったお二人が作る、こだわりのフェイジョアスイーツを是非お買い求めください。



フェイジョアのつぶつぶ食感と華やかな香りをお楽しみください!

ふえいじょあ羊羹 1個200円(税込)

※取扱店舗によって値段が異なる場合があります

取扱店舗

ゆうゆうファームふくか
田舎んぼ
JA福島さくら 新鮮やさい館 好間店
新鮮やさい館 平窪店
新鮮やさい館 谷川瀬店
ファーマーズマーケット いがつべ
イオンいわき産直売り場



ゆうゆうファーム
丸山さん夫妻

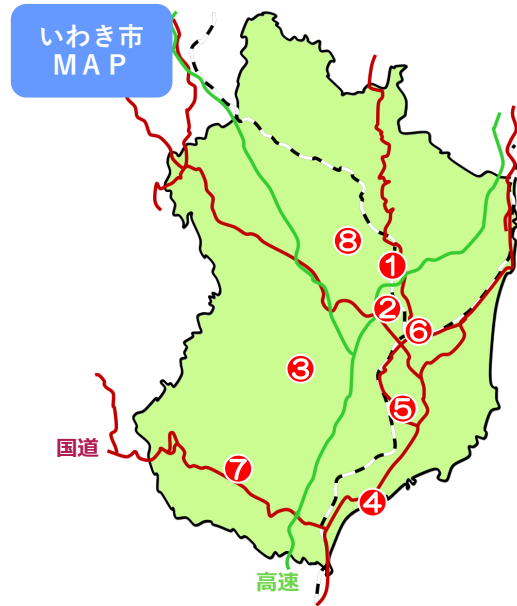
販売元・お問い合わせ

合同会社ゆうゆうファーム

〒970-0101 福島県いわき市小川町塩田字堀口10-1 ☎0246-83-3110

今月号に掲載した場所はこちら！

- ① JA福島さくらいわき梨選果場 (p.1)
小川町西小川字下蕪田16
- ② 市立好間第一小学校 (p.3)
好間町上好間字馬場前14
- ③ いわき木材流通センター (p.4)
遠野町深山田字柳久保28-2
- ④ 小浜漁港 (p.4)
小浜町渚
- ⑤ 株式会社正木屋材木店 (p.5)
常磐下船尾町古内133
- ⑥ ビストロあん庵 (p.6)
平堂ノ前22 労働福祉会館1F
- ⑦ 株式会社磐城高箸 (p.10)
田人町南大平字坪内95-1
- ⑧ 合同会社ゆうゆうファーム (p.10)
小川町塩田字堀口10-1



【福島県オリジナルの Lindo 品種「天の川」】※表紙の写真について

「天の川」は福島県オリジナルの Lindo 品種で、青い花弁に入った白い斑点が特徴です。県では、ふくしまならではの花を身近に感じられるよう「ふくしまの花を愛でるライフスタイル」を提案しています。皆さんも、ぜひ日常にふくしまの花を取り入れてみてはいかがでしょうか？
(農業振興普及部)



あとがき

特集のフレッシュ農業講座に始まり、小学生のフラワーアレンジメントや高校生のさつまいも、大学生の田人訪問など、若者の話題が豊富な10月号になりました。

少子高齢化が叫ばれて久しい日本ですが、農業の高齢化はもっと深刻で、基幹的農業従事者の約70%が65歳以上となっています(R2農林業センサス)。儲かる農業を確立するのはもちろんのこと、若い世代に農業のことをもっと知ってもらえるよう、情報発信に力を入れねばと思う担当でした。農林水産部公式Youtube見てね！

(担当 Y・W)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース